

1998 年版パントーン® *ColorTrends*™

デスクトップパブリッシングのアプリケーションソフトウェアにカラーパレットを導入

本書は、あなたのお好みのデスクトップパブリッシングソフトや、グラフィックデザインソフトへの1998年版パントーン *ColorTrends* パレット導入のお手伝いをすることを目的としています。これらのトレンドイデでファッショナブルな新しい色彩を簡単にご使用いただけるように、当社ではマッキントッシュおよびウィンドウズの上の各ソフトウェアに合わせて、すぐにご使用になれるような、カラーファイルを準備いたしました。

これらのファイルに納められているデータは、150ライン商業印刷に使用できるCMYKデータです。もし、1998年版パントーン *ColorTrends* カラーを正確に復元する仕上りがご希望であれば、貴社の下請業者に対して、それをスポットカラーで指定し、かつ、1998年版パントーン *ColorTrends* ガイドによるインク調合を支給してあげることが必要でしょう。

このCDについて一言申し上げます。このCD上のファイルは、マッキントッシュおよびウィンドウズのオペレーティングシステム用にフォーマットしてあります。一部のフォルダーはマッキントッシュ用、他のフォルダーはウィンドウズ用と明示したラベルが貼ってあります。これらのフォルダーには各々、プラットフォームと各アプリケーションソフトに合わせた1998年版パントーン *ColorTrends* パターンの組合わせが入っています。お探しになっている特定のファイルがすぐに見つかるように、製品名とソフトウェアの発行者で分類されています。当社が提供する各アプリケーション用のサポートファイルの数が多きさらに、マッキントッシュおよびウィンドウズは各々異なるネーミング方法を取っているため、各章の末尾に特定の1998年版パントーン *ColorTrends* アプリケーションパレットの場所と名前をリストしておきます。

本書に記載されているすべての商標は、パントーン社の知的資産です。
著作権 Pantone, Inc. 1997

カラーパレットの使い方

サポートされているアプリケーション ソフトウェア

当社は数多くのデザイン用および出版用アプリケーション ソフトウェアに対して、すぐに使えるようにアレンジされたパントーン *ColorTrends* パレットを用意してあります。あなたのお好みのアプリケーションがサポートされていなかった場合のために、当社ではパントーン *ColorTrends* カラー チャートをEPSおよびTIFFフォーマットで提供しています。

ほとんどのアプリケーションの場合、クロス プラットフォームであると、カラー パレットのローディングは同一の方法で行われます。各ファイルの使用方法は適応する場合は、クロス プラットフォームになっています。各ファイル タイプの使用に関する取り扱い方に差異があるときは、その旨を注意書きに示してあります。

注意：カラーパターンの取り扱いについては、ご使用になっているアプリケーション ソフトウェアのユーザー マニュアルの指示が、最も正確で新しいものと思われるので、それらに従ってください。

マッキントッシュの場合は、ファイルネームのエクステンションが不要ですが（フリーハンドだけは例外です）、ご参考のために適当と思われるファイルネーム エクステンションをここにリストしておきます。ここに推定された省略時（デフォルト）のファイル名は、これらのアプリケーションをPC上で走らせるときに使われるものです。

アプリケーション	エクステンション
アドービ イラストレータ	.ai
アドービ フォトショップ 3.0、4.0	.aco
アドービ ページメーカー 5、6、6.5	.bcfと .acf
マクロメディア フリーハンド 4から7まで	.bcfと .acf
マクロメディア フリーハンド 3	.clib
デネバ キャンパス 3.5以上	.pal
クオークエクスプレス（EPSファイルとして）3.3以上	.eps
コレルドロール 6と7	.palと .cpl
マイクログラフィックス デザイナー	.pl4
EPSFチャート	.eps
TIFFチャート	.tif
パントーン カラードライブ	.pcd
テキスト フォーマット（ASCII）	.txt
ロー ポスト スクリプト ファイル	.ps
アドービ アクロバット	.pdf

EPSF、TIFFおよびアクトバット・チャート

一部のプレゼンテーション用や作図用のプログラムはサポートされているプログラムのリストにのっていません。その場合には、ご使用になりたいカスタム・カラーをそのようなプログラムに持ち込むことは、いくつかの適当なカラーチャートのどれかを使って行うことができます。そのためには、インポートされたグラフィックから色を拾い上げるためのツール（例えば目薬さしのような）がそのプログラムに含まれている必要があります。

開いたパレットの中で色を指定することができないアドービ・フォトショップのようなアプリケーションの場合、EPSFとその他のチャートが便利です。あなた専用のカラーパレットに似た色がある場合には、この方法によって目的を達することができます。2つの色が隣に合った名前のない小さな四角で示されている場合、見分けることは困難です。

EPSFチャートは、見分けやすいように各々の色の下に名前が書かれるようなフォーマットになっています。

マッキントッシュ： カラー・チャート/11 x 17 チャート、EPSF/1996 ColorTrends.eps
カラー・チャート/アドービ アクトバット/1998 ColorTrends.pdf
カラー・チャート/ローポストクリプト/1998 ColorTrends.ps
カラー・チャート/TIFF/1998 ColorTrends.tif

ウィンドウズ： チャート/EPSチャート/98CT.EPS
チャート/アクトバット/98CT.PDF
チャート/TIFF/98CT.TIF
チャート/TIFF/98CT.PS

カラーパレットのインポート

本章では、他のアプリケーションソフトにカラーパレットをロードするために従うべき一般的なステップについて説明しています。これらの一般的なガイドラインに加えて、ローディングの方法とカラーパレットの使用方法の詳細については、他のアプリケーションソフトについてきたマニュアルを参照してください。

カラーパレットの使い方

アドービ イラストレータ

アドービ イラストレータはファイル メニューの中のオープン・コマンドにより（バージョン 4.x）、またはファイル上のインポート スタイル コマンド（マック バージョン5.x以上）によってカラー・パターンをロードすることができます。ひとたび開かれたら、各カラーはペイント スタイル ダイアログ ボックスの中で選択できます。

ファイルをセーブしたら、他のいかなる外部イラストレータ カラー パレットとも同様にアドービ イラストレータを開き、カスタム パレットを開きます。ロードが終わったら、カスタム カラーをアドービ イラストレータのカラー パレットに加えます。

イラストレータ中のカラー パレットを開くには（アドービ イラストレータ バージョン6まで）

アドービ イラストレータをスタートさせます。

ファイル ネームから、オープンまたはインポート スタイルを選びます。

カラー パレットを見つけます。それには .ai のファイル エクステンションがついており、ゲット ファイル ダイアログ ボックス中の名前の左側にアドービ イラストレータ アイコンがついているはずです。カラー パレットを選択し、オープンを選択するか、カラー パレットの名前をダブル クリックします。

さてこれで、アドービ イラストレータの中のカラー パレットを他のカラー パレットと同様に使うことができます。カスタム カラー アイコンを選択することにより、ペイント スタイル ダイアログ ボックスの中でカスタム カラー パレットを選ぶことができるようになります。

アドービ イラストレータ7の中でカラー パレットを開くには：

メニュー バーからウィンドウ スワッチ ライブラリーその他のライブラリーを選びます。次にパレットをしまったところに移動します。

カラー パレットの色を使うには：

色をつけるものを作図するか、選択します。

ペイント スタイル ウィンドウが開いていない場合は、オブジェクト メニューからペイント スタイルを選択します。

カスタム エリアで、左から5番目のカスタム カラーの四角を選択します。

アルファベット順のリストから任意の色を選びます。

マッキントッシュ：アプリケーション サポート/アドobe/イラストレータ/1998
ColorTrends.ai

ウィンドウズ： APLICAT/ADOBE/ILLUSTRATION/98CTWIN.A1

アドobe フォトショップ

アドobe フォトショップでは色の名前を定義することはできません。色そのものを定義するだけです。色の差を見分けることは難しいかもしれません。非常に色の多いパレットを使っている場合や、色の名前を見たい場合は、本章の前のほうに記述されているEPSFチャートの使い方に従ってください。そして、アドobe フォトショップ内のどのEPSファイルに対しても共通な指示に従ってください。色モデルはCMYKであることを確認してください。

アドobe フォトショップ バージョン3.0と4.0内のカラー パレットを開くには：

アドobe フォトショップ 3.0を開きます。

パレット スワッチが表示されていないときは、ウィンドウズのメニューの中からパレットを選びます。スワッチが表示されます。

スワッチ ウィンドウズの右上隅の矢印をクリックしてロード スワッチを選択します。

パントーンColorTrendsから1998ColorTrends.acoという題のついたカラー・パレットを選択し、クリックしてオープンします。

カラー パレットの色を使うには：

ペイント バケツ ツールをクリックします。

スワッチ ウィンドウズの中のカスタム カラーの1つを選択します。

1つのオブジェクトの中の任意の点でクリックすると、全体が選んだ色で充満されます。

アドobe フォトショップ中の校正された色を使う前に、書類をCMYKモードで働くように変換します。

マッキントッシュ：アプリケーション サポート/アドobe/フォトショップ/1998
ColorTrends.aco

ウィンドウズ： APLICAT/ADOBE/PHOTOSHOP/98CTWIN.ACO

カラーパレットの使い方

アドービ ページメーカー バージョン5.x、6.xおよび6.5

アドービ ページメーカー5.xと6.xは共にBCF（バイナリ カラー フォーマット）とACF（ASCIIカラー フォーマット）をサポートします。マッキントッシュ、アドービ ページメーカー5.xの場合、カラー パレットはシステム・フォルダ内のアルダス・フォルダの中のカラー フォルダにしまっておく必要があります。ウィンドウズの場合、アドービ ページメーカー5.xはカラー パレットをPM5¥UseEnglish¥Colorのディレクトリにしまっておく必要があります。マッキントッシュの場合、アドービ ページメーカー6.xはカラー パレットをPM6フォルダの中のRSRCフォルダの中のカラー フォルダにしまっておく必要があります。ウィンドウズの場合は、アドービ ページメーカー5.xはカラー パレットをRSRC¥Usenglish¥Colorのディレクトリにしまっておく必要があります。

アドービ ページメーカー5.xまたは6.xの中のカラー パレットを開くには：

アドービ ページメーカー5.xまたは6.xを開きます。

エレメント メニューの中からディファイン カラーを選択します。

ディファイン カラー ダイアログ ボックスの中で、新しい色を加えるためにニューを選択します。

エディット カラーダイアログ ボックスの中のライブラリーの矢印をクリックします。

アドービ ページメーカー5.xまたは6.xで使うために定義したカラー パレットを選択し、クリックして開きます。

セレクト カラーズ トゥー インポート（インポートする色の選択）ダイアログ・ボックスにおいて、現在のアドービ ページメーカー5.xまたは6.xの文書中のあなたのカラー パレットからすべての色を選ぶには、シフト キーを押さえながら、すべての色をドラッグして、OKをクリックします。

色の一部分を選択するには、まず使いたい最初の色をクリックします。コマンド キーを押さえながら、アドービ ページメーカー5.xまたは6.xの文書中で使用したいその他の色を1つずつクリックします。色の選択が終わったらOKをクリックします。

OKをクリックしてエディット・カラー ダイアログ ボックスを閉じます。もう一度OKをクリックして、カラー ダイアログ ボックスを閉じます。

カラー パレットの色を使うには：

カラー パレット ウィンドウが開いていないときは、ウィンドウズのメニューからカラー パレットを選択します。

アドービ ページメーカー5.xまたは6.xの文書中のあなたが色をつけたいオブジェクトを選択します。

カラー ウィンドウ フィル ボックスの中で、オブジェクトに色を供給したい場合はフィル (Fill/満たす) を選択します。ライン (輪郭) に色をつけるときはライン (Line/線) を、オブジェクトと境界線の両方に色をつけるときはボース (Both/両方) を選択します。

カラーズのウィンドウ中の1色を選択して、その色でオブジェクトに色をつけます。

マッキントッシュ：アプリケーション サポート/アドービ/ページメーカー/1998
ColorTrends.acf

ウィンドウズ： APLICAT/ADOBE/PAGEMAKE/98CTWIN.BCF

クオークエクスプレス3.3x以上

クオークエクスプレスに色を加えるときはEPSファイルをインポートして行います。クオークエクスプレスはEPSファイル中の色をカラー リストに加えます。ひとたびクオークエクスプレス カラー リストに色が入れば、あなたの文書の中で色を使用することができます。

クオークエクスプレスの中でパントーン カラーを別の名前にしてはいけません。カラーネームの前にあるスペースを除去すると、クオークエクスプレスは組込まれている値から色を再定義してしまいます。

マッキントッシュ：アプリケーション サポート/クオーク/1998 ColorTrends.eps

ウィンドウズ： APLICAT/QUARK/ 98CT.EPS

マクロメディア フリーハンド 4から7まで

マクロメディア フリーハンド 4から7はBCFとACFの両方をサポートします。カスタム カラー パレットをストアするにはどこでも構いませんが、マッキントッシュの場合は、パレットはカラー フォルダ、アルダス フォルダまたはシステム フォルダに入れておくことができます。ウィンドウズの場合も、パレットをカラー フォルダ、Usenglishフォルダ、またはマクロメディア フリーハンド フォルダに入れておくことができます。カラー フォルダに入れた場合、次回マクロメディア フリーハンドを開けたときにそれは自動的にカラーリスト ダイアログ ボックスのオプション メニューに現れます。ACFパレットがひとたびマクロメディア フリーハンドに持ち込まれると、プログラムは自動的にBCFファイルを作り出します。

カラーパレットの使い方

注：マクロメディア フリーハンド7.0はアプリケーション レベル カラー修正機能が組込まれていますが、最初にこれを使用禁止にします。詳しいことについては、マクロメディア フリーハンド ユーザー マニュアルを参照してください。

マクロメディア フリーハンド4.xと5.xの中のカラー パレットを開くには：

マクロメディア フリーハンド4.xと5.xを開きます。

メニューから、ニュー (New) を選ぶか、または既存のマクロメディア・フリーハンド文書を開きます。

カラー リスト ウィンドウが開かれていない場合、ウィンドウズ メニューから、カラー リストを選択します。

カラー リストパレットの中のオプションを開きます。

カラー パレットをカラー フォルダーに入れてある場合は、オプション リストの中のカラー パレットを選択します。

カラー パレットをその他の場所に入れてある場合は、オプション メニューの中のインポートを選択します。カラーパレットを選び、オープンをクリックします。

カラーパレットからすべての色を選ぶときは、シフト キーを押さえながら、すべてのカラーをドラッグして、OKを押します。

各色のサブセットを選ぶときは、使いたい最初の色をクリックします。コマンドキーを押さえながら、フリーハンド文書で使いたいその他の色を1つずつクリックします。色の選択が終わったら、OKをクリックします。

マクロメディア フリーハンド4.xと5.xの色を使うには：

カラー リスト ダイアログ ボックスから、使いたい色の四角を色をつけたいオブジェクトの上までドラッグします。選択した色でオブジェクト全体に色づけたいときは、その色の四角をオブジェクトの中央に、境界線だけに色づけたいときは境界線上にドラッグします。

マッキントッシュ： アプリケーション サポート/フリーハンド/フリーハンド4-5/1998 ColorTrends.acf

ウィンドウズ： APLICAT/FREEHAND/ 98CTWIN.BCF

マクロメディア フリーハンド3.x

マクロメディア フリーハンドの初期のバージョンは、BCFもACFもサポートしておらず、CLIBフォーマットを使っています。

マクロメディア フリーハンド3.xの中のカラー パレットを開くには：

マクロメディア フリーハンド3.xを開きます。

既存の文書を開くか、ファイル メニューからニュー（New）を選びます。

カラー ウィンドウが開かれていない場合は、ビュー メニューからウィンドウズ メニューを開き、次にカラーを選びます。

カラーズ ウィンドウズの右側にある矢印をクリックし、インポートを選択します。

あなたがセーブしてあったパレットを選択し、オープンをクリックします。

現在のマクロメディア フリーハンド文書の中のあなたのカラー パレットからすべての色を選ぶときは、シフト キーを押さえながら、すべてのカラーをドラッグして、OKを押します。

各色のサブセットを選ぶときは、使いたい最初の色をクリックします。コマンドキーを押さえながら、マクロメディア フリーハンド文書で使いたいその他の色を1つずつクリックします。色の選択が終わったら、OKをクリックします。

カラー パレットの色を使うには：

色づけしたいオブジェクトを選択します。

カラーズ ウィンドウから、フィル ボックスを選びます。オブジェクト全体を色づけしたいときはフィル（Fill）を選びます。境界線だけを色づけしたいときはラインを選びます。オブジェクトと境界線の両方を色づけするときは、ボース（Both）を選びます。

選んだオブジェクトに色づけするために1つの色をカラーズ ウィンドウから選びます。

マッキントッシュ： アプリケーション サポート/フリーハンド/フリーハンド3.1/1998
ColorTrends.clib

ウィンドウズ： APLICAT/FREEHAND/ 98CTWIN.CLB

カラーパレットの使い方

デネバ キャンバス3.5および3.5.3

デネバ キャンバスではカラー パレットをインポートして、キャンバス カラー パレットあるいはEPSFチャートとして使用することができます。

キャンバスの中のカラー パレットを開くには：

キャンバスを開きます。

既存のキャンバス文書を開くか、またはファイル メニューからニュー(New)を選択します。

ウィンドウズのメニューからパントーン カラーを選択します。

カラー・セットのボックスからロードを選択します。

あなたがセーブしたカラー パレットを選択して、オープンをクリックします。

あなたのカラーは、あなたがつくったときの順序でパントーン カラー ダイアログ ボックスに現れます。

カラー パレットの色を使うには：

キャンバス文書中のオブジェクトであなたが色をつけたいものを選びます。

フィルとラインのメニューを開き、1つの色をクリックします。

マッキントッシュ：アプリケーション サポート/キャンバス/1998 ColorTrends.pal

コレルドロー

注：コレルドロー7は、アプリケーション レベルの色修正機能が組込まれているので、まずそれを使用禁止にします。詳細についてはコレルドローのマニュアルを参照してください。

コレルドローの中のカラーパレットを開くには：

コレルドローを開きます。

フィル ツールをクリックします。

パレット アイコンをクリックします。

カスタム パレットの隣にある右矢印のポップアップから、オープン パレットを選択します。

オープン ダイアログ ボックスの中で、タイプ ボックスのリスト ファイルの中のプロセス パレットを選択します。

コレルドローのなかで使うカラー パレットを選択し、OKをクリックします

ウィンドウズ： APLICAT/CORELDRW 98CTWIN.CPL

 APLICAT/CORELDRW 98CTWIN.PAL

マイクログラフィックス デザイナー6.x

マイクログラフィックス デザイナーの中で、カラー パレットを開くには：

マイクログラフィックス デザイナーを開きます。

パレット アイコンを選択します。

パレット マネジャー ダイアログ ボックスの中で、インポートをクリックし、あなたがつくったカラー パレットを開きます。

マイクログラフィックス デザイナーの中で使うためにあなたが作ったカラー パレットを選択し、そのパレット名をダブルクリックします。。

パレット マネジャー ダイアログ ボックスに戻ることをOKし、もう一度OKします。

マイクログラフィックス デザイナーの中のカラーを使うには：

色づけしたいオブジェクトを選びます。

カラー パレット バーから、使いたい色を選びます。

ウィンドウズ： APLICAT/DESIGNER/ 98CTWIN.PL4

テキスト ファイル

以上のほかにASCIIフォーマット テキスト ファイルが含まれています。このフォーマットはロード可能なカラー パレットを支持しないプログラムを使っており、カラー チャートが使えない場合に便利です。このファイルはワード プロセッサやスプレッドシート プログラムの中で開くことができ、1998年版パントーンColorTrendsの色とそのCMYK定義をプリントアウトすることができます。これを使って色彩のCMYK値を直接にプログラムにインプットすることができます。

マックイントッシュ： Color Lookup Tables Text/1998 ColorTrends.txt

ウィンドウズ： 98CTLUT/98CTWIN.TXT

カラー ドライブ と一緒にカラーパレットを使う

パントーン カラー ドライブ バージョン1.x、ウェブ ツールつき15.3を含む

このCD-ROMには1998年版パントーンColorTrends/パレットに対する様々なパントーン カラードライブ ファイルが収められています。1つのパレットには150ライン CMYKデータが含まれています。もう1つのパレットはRGB仕様です。ウェブ デザイナー用のあるパレットにはHTML値が設けられてあり、デバイスから独立したスペクトラル データに基づくパレットもあります。スペクトルに基づくパレットはプロファイルを介して管理されており、最も豊かで、最も正確なデータ形式を持っています。

パントーンColorTrendsの中のカラー パレットを開くには：

希望するパントーンColorTrends ファイル（CD上のパントーン カラー ドライブ中にあります）のコピーをパントーン カラー ドライブ ライブラリー フォルダまたはその他任意の希望する目標にドラッグします。

パントーン カラー ドライブを起動します。

ライブラリー メニューから1998年版パントーンColorTrends/パレットにアクセスするか、他のパントーン カラー ドライブと同様にファイル オープンを使ってパレットを開きます。

他のパントーン カラー ドライブと同様にパレットを使います。

注意：スペクトルに基づいたパレット（マック：1998年版ColorTrends/スペクトラルまたはウィンドウズ：98CTSPEC.PCD）のみを使います。このデータをカラーマネジメントICCプロファイルと共に使う場合には、デバイスに関係の無いデータを必要とする他の機能または他のパントーン カラーに最も近似するものを見つけること。

マッキントッシュ：パントーン カラードライブ サポート/1998 ColorTrends RGB
パントーン カラードライブ サポート/1998 ColorTrends RGB-HTML
パントーン カラードライブ サポート/1998 ColorTrends Spectral
パントーン カラードライブ サポート/1998 ColorTrends CMYK

ウィンドウズ：COLORDRV/98CTRGB.PCD
COLORDRV/CTRGBHTM.PCD
COLORDRV/98CTSPEC.PCD
COLORDRV/98CTCMYK.PCD